

# INSTALLATION MANUAL

## 施工方法

### 施工方法と注意点について

#### ◆基本的な施工上の注意

当社の無垢材製品はすべて乾燥材です。大引・根太・胴縁などの下地材にも、必ず乾燥材をご使用ください。

無垢材は施工前に現場で開梱し、1週間程度現場の環境に馴染ませてから施工してください。

湿気の多い場所では、板同士をきつく締め付けず、軽く「突く」程度で施工してください。

無垢材は色や木目の表情が一枚一枚異なります。

施工前に全体の色柄を見て、バランスよく配置することで美しい仕上がりになります。

無垢フローリングは屋外での使用には適しません。

キッチン・洗面所など水がかかりやすい場所では、水がフローリングにこぼれないようご注意ください。

結露水も含め、濡れた場合はすぐに拭き取り、しっかり乾燥させてください。

放置すると膨張・段差・浮き・変色などの原因になります。

施工終了後は必ず養生をしてください。

養生テープは直接フローリングには貼らないでください。（フローリングの塗膜が剥がれる可能性があります）

#### ◆湿気・乾燥・加熱に関する注意

台所や浴室、洗面所などは換気を良くし、他の部屋に湿気が流れ込まないようにしてください。

加湿器は蒸気が直接床に当たらないように設置し、部屋の隅に結露が発生しないように使用してください。

湿気が多いとフローリングが膨張し、隙間がなくなり、浮き・反りなどが起こることがあります。

電気カーペットや电热マットは局部的に加熱し、反り・割れ・変色などの原因になります。ご使用は避けてください。

#### ◆木材の特性（色・柄・節）について

無垢材は自然素材であるため、木目や色合いに個体差があります。これは天然の風合いであり、時間とともに調和した色に変化していきます。

製品には、生節・埋木節・葉節（黒点状の節）などが含まれる場合があります。機能上の問題はありません。

紫外線（日光・照明）により木材の色が徐々に変化します。直射日光が当たる場合は、カーテンやブラインドなどで調整してください。

長期間同じ場所にカーペット等を敷いたままにすると、色の変化にムラが出てくる場合があります。

#### ◆床材（根太張り）の施工について

- ・無垢材は膨張・収縮を繰り返すため、壁際には5～7mm程度の隙間を設けてください（壁に接着しないこと）。
- ・床下は換気を十分に確保し、下地には12mm以上の耐水合板を「捨て貼り」してください。
- ・釘と接着剤の併用を基本とし、接着剤は2液性エポキシボンドの使用を推奨します。

#### ◆床材（直張り）の施工について

※直張り工法：コンクリートなどの下地に接着剤を使ってフローリングを直接貼り付ける工法

■使用する下地について床下地には、以下のいずれかを使用してください。

- ・コンクリート（モルタル）金鋲押えの床下地
- ・セルフレベルリング材を使用した下地
- ・合板下地

下地については、以下の点にご注意ください

- 1.フローリングを貼るスペース(張り代)が適切に確保されていること。  
特に出入り口や壁際の納まりがきれいに処理されていることをご確認ください。
- 2.下地に十分な曲げ強度と剛性があり、かつ十分に乾燥していること。  
モルタル下地の場合、十分に乾燥していることを確認して施工してください。  
乾燥の目安は、夏季で3週間、冬季で4週間以上が必要です。
- 3.接着強度と平滑性が確保されていること。  
接着不良、隙間、段差などの不具合が起こる原因になります。

#### ■フローリングの張り込みについて

- ・張り込み作業の前に、板の割り付け(配置計画)を行ってください。
- ・所定の接着剤を下地全体に塗布し、板の短辺の継ぎ目がそろわないように配置しながら、  
板を傷つけないように並べ、押さえつけて平らに張り込んでください。
- ・接着剤の塗布には、必ず専用のくしべらを使用し、下地に均一に所定量を塗ってください。  
塗布後は、接着剤が固まるまでしっかりと養生を行ってください。

#### ■接着剤の標準塗布量

- ・コンクリート下地の場合:400g以上/m<sup>2</sup>
- ・合板下地の場合:300g以上/m<sup>2</sup>

#### ■接着剤の取り扱いについて

- ・エポキシ樹脂系の2液型接着剤は、決められた混合比でしっかり攪拌し、専用容器を使用して塗布してください。
- ・1回に混ぜる量は、作業量と接着剤の可使時間を考慮して調整してください。
- ・室温が5℃以下になる場合は、採暖などの処置をしてください。
- ・作業中に接着剤がフローリングの表面に付着した場合は、乾いた布や専用の溶剤で早めに拭き取ってください。

#### ■釘を併用する場合

- ・接着剤を塗った上で、合板をコンクリート釘で固定してください。
- ・上張りとは下張りの継ぎ手が重ならないように注意してください。
- ・使用する釘は、フローリングの厚みに合わせて、合板を貫通しない長さのものを選んでください。

#### ■エキスパンション(伸縮のための隙間)について

- ・壁、巾木、框、敷居などとの取り合い部分には、フローリングが伸び縮みすることを考慮し、  
必要に応じて適切な隙間を設けてください。